

在宅で看取りを迎える “覚悟”のために

— 認知症をご自分自身のテーマとして —

講師

京都橘大学看護学部非常勤講師 **長尾 匡子 先生**
(京都橘大学大学院老年看護学領域博士後期課程在学)



たとえ認知症になっても、家族や地域の十分な支えがあれば、住み慣れた自宅や地域において、人生の最後までその人らしい暮らしを続けることができます。認知症を知りその対処を学べば、適切な助言や上手な介護サービスの活用により、ご本人や家族の心身の負担を少しでも軽くすることができます。

※手話通訳(手話サークルこのはな)あり

- 日時 **平成30年**
10月11日(木) 午後2時～4時
- 場所 **此花会館 梅香殿3階 大ホール**
此花区西九条5-4-24
- 参加費 **無料**
- 対象 此花区にお住まいの方やお勤めの方ならどなたでも
- 定員 **150名**(当日、直接会場へお越しください)
- 問合せ 此花区医師会 ☎6462-0572 FAX6462-3262
此花区地域包括支援センター ☎6462-1225 FAX6462-1984
此花区南西部地域包括支援センター ☎6462-9301 FAX6462-9310

主催 此花区医師会

共催 此花区在宅医療・介護連携推進会議／此花区地域包括支援センター／此花区南西部地域包括支援センター
このはなオレンジチーム(認知症初期集中支援チーム)／此花区保健福祉センター